

はねっと 10

仙台市市民活動サポートセンター通信 ぱれっと

“ぱれっと”には、仙台市市民活動サポートセンター(サポセン)にいろいろな人が集まり、それぞれの色(個性)が発揮され、新しい出会いや活動が生まれていく。そんな願いがこめられています。



一步踏み出す気持ち芽生える「ワクワクビト」

自分らしく希望を持って 生きる子を育てる先生になりたい

まなこ
manaco 共同代表 **中野 柁一郎** さん(23)

中野柁一郎さんは、オンライン上をメインに子どもの居場所づくりをしています。子どもが「自分の話を聞いてくれる」「自分のことを考えてくれる」「挑戦を支えてくれる」と思える、安心して自分らしくふるまえる場を目指しています。

中野さんが学校の先生を志して宮城教育大学に通っていた2020年春。コロナ禍により全国一斉に小中高・特別支援学校が休校となり、同級生3人と「何かできることはないか」と考えたのがmanaco設立のきっかけでした。学習の遅れや友達との交流の減少による子どもたちの不安をケアするため、5月に活動を開始。当時、中野さんたちは4年生で、学校の先生になるには、夏に採用試験を受ける必要がありました。しかし、「manacoを必要とする子と保護者がいる中で活動をやめることは考えられなかった」と中野さん。現在は、青少年支援を行う他のNPOや地域の居場所づくり拠点施設を運営する企業で働きながら、manacoの活動をしています。

子どもが安心して自分らしくふるまえる場を目指す理由は、子どもや学生ボランティアと触れ合う中で、自発的な「やりたい」ことよりも他の「やらなければならない」ことを優先するのを目の当たりにしたり、「できない」「無理」「難しいかも」と挑戦をためらう言葉を多く聞いたりしたからです。生きづらさを抱える子どもや学生を見て、「もっと自分らしく、希望を持って生きていける社会にし



たい」と思うようになりました。

子どもや学生ボランティアの「やってみたい」に耳を傾け、自らがともに楽しみ活動することを大事にしながら、中野さんは今、学校ではない場所で、なりたい先生像を追い続けています。

manaco

2020年5月設立。団体名は、活動において大切にしている「学び」と「コミュニケーション」から名付けました。オンラインを活用しながら、学習のサポートや相談、雑談など、子どもたちのニーズに合わせた活動を行っています。月に数回、週末に対面イベントも開催。宮城県内の小学生から高校生までの子どもが対象です。



▲HPはこちら





市民活動団体を紹介「市民活動突撃レポート！」

子どもたちに本との出会いを届け続けて45年

仙台市若林区中倉にある「まつお文庫」は、松尾福子さんが自宅を開放し、本の貸し出しや読み聞かせなどを行っている家庭文庫です。家の中は9000冊の児童書が天井までぎっしり。子どもたちは大きな机で友達と一緒に本を広げたり、本棚に囲まれた秘密基地のような一角で床に寝転んだりしながら、のびのびと自由に本の世界に浸ることができます。本の他にも、お手玉、あやとり、パズルなどがあり、様々な年齢の子ども同士と一緒に遊べます。

まつお文庫の開館は1977年10月。中学・高校の国語教師だった松尾さんが、30歳を前に今後の生き方を考えた時、「自宅でわが子と関りながら、社会とつながっていられる生き方をしたい」と思ったのがきっかけです。当時、仙台市内にあった図書館は1カ所のみ。住む地域や家庭環境によって本に触れられる機会に差があったことを、松尾さん自身も子どもの頃は知らずに過ごしてきました。「本を読んで知らない世界にドキドキ、ワクワクする経験は自分だけの冒険。そんな楽しさを、多くの子どもたちに伝えられたらと思った」と話します。児童書も持っていなければ、家庭文庫の経験もないスタートでしたが、本を一冊ずつ読み集め、遊びを通じて子どものことを知っていった松尾さん。今では「面白い本、何かないですかー？」と尋ねられ

ば、本が苦手な子どもにも、年齢や興味に合った本をすぐに見つけ出せる達人です。

現在までに本の貸出し登録を行った子だけで1万人以上。親

子2世代にわたって利用する人もいます。「あの頃読んだ本が忘れられない」「私の大切な場所を残していてくれてありがとう」といった声が寄せられることも。まつお文庫は多くの子どもたちの思い出とともに、今も変わらず在り続けています。



まつお文庫

開放日：毎週 水曜日・土曜日15:00～18:00
(第2土曜日は休み)
TEL:022-231-2712



▲ブログ



サポセン蔵書から活動に役立つ書籍をご紹介します「お役立ち本」

ひきこもる女性たち

「男は仕事、女は家事」という固定観念から、女性は社会から孤立した状態にあっても、家事や育児さえしていれば「ひきこもり」と認識されづらい課題があります。彼女たちの背景には、性被害や家庭内暴力など、他人に打ち明けにくく、外から見えにくい問題が隠れている場合もあります。本書では、女性のひきこもりの実態から、当事者同士が気軽に話せる場の大切さや、新しい働き方について考えます。

著者 池上正樹
発行所 KKベストセラーズ



つながる つなげる サポセン

仙台市市民活動サポートセンターとは

様々な分野の市民活動、ボランティア活動の支援施設です。「自分たちのまちをもっと良くしたい」。そんな市民の自発的な活動を応援します。お気軽にご相談ください。

今月の休館日 10月12日(水)、26日(水)

開館時間 月曜日～土曜日 9:00-22:00
日曜日・祝日 9:00-18:00
休館日 毎月第2・第4水曜日(祝日の場合は翌日木曜日) 年末年始

〒980-0811 仙台市青葉区一番町四丁目1-3
TEL 022-212-3010 FAX 022-268-4042
[ホームページ] <https://sapo-sen.jp>
[サポセンブログ@仙台] <https://blog.canpan.info/fukkou/>

「ばれっと」バックナンバーは
ホームページからダウンロードできます。



ほぼ毎日更新している「サポセンブログ@仙台」で、取材の様子やこぼれ話を配信しています。

編集・発行

仙台市市民活動サポートセンター
(指定管理者：特定非営利活動法人
せんだいみやぎNPOセンター)

発行日 2022年10月1日

デザイン PEACE Inc.

[Twitter]

@SCSC4CA

[YouTube]

サポセンちゃんねる

